

SAGAMIHARA GREEN

URL <http://www.sagamiharashi-machimidori.or.jp>

相模原市まち・みどり公社機関紙
さがみはらグリーン

★「さがみはらグリーン」は、まち・みどり公社本社（けやき会館内）をはじめ、市内の市立公園や公民館、図書館等に配架しております。

Vol.51 2015.06

2ページ▶相模原市と桜

3ページ▶いきいきとした人と森林のかかわりを求めて
～さがみはら森林ビジョンの推進～

4ページ▶市内の動植物を訪ねて 道保川公園の蛍
緑化奨励金のご案内

写真 ラベンダー（スーパーセビリアンブルー） 相模原北公園

暮らしを彩るボタニカル・ライフ ～ラベンダーで爽やかな初夏を！～

ガーデナー 志村みか氏

近頃、ローズマリーとともに認知症予防のハーブとして注目を集めているラベンダーをご紹介します。

ラベンダーはシソ科の常緑性低木で、古代ローマでは風呂や衣類の香りづけや殺菌・消毒の効果があるとされ、利用されてきました。また、香りにはリラックス効果があり、これからの寝苦しい夜にラベンダーの香りはいかがでしょうか。

ラベンダーは主に5グループに分類されますが、今回は、夏の高温多湿でも比較的育てやすい2種類をご紹介します。

①ストエカス系（別名フレンチラベンダー）丸みのある花穂の先端に、ウサギの耳のような苞葉（ほうよう）と呼ばれる部分があるのが特徴で、甘い香りから観賞用として大人気です。耐暑性が強いので暖地向き。逆に冷涼地では防寒対策が必要な場合も。次々と花を咲かせます。代表品種：キューレッド、エンジェル、ヘルムスデールなど

②ラバンディン系
大きな花穂と美しい花色、そして生長も早く大株に育つので見映えもよく、しかも、高温多湿や病気にも強いので、育てやすいタイプです。代表品種：スーパーセビリアンブルー（表紙写真）、グロッシンなど

ラベンダーは花穂だけでなく、葉にも香があるので、乾燥させてポプリにすると長く楽しむことができます。

サクラサク

特集 01 相模原市と桜

サガミハラ

平成23年に相模原市シティセールス戦略における、重点戦略のひとつとして「サガミハラ・サクラ戦略」が策定され「桜の持つ良好なイメージを活用し、「相模原」といえば“サクラサク・サガミハラ”とイメージできるような都市を目指す」こととなっています。

そこで、今年度発行する機関紙さがみはらグリーンの特集ページのテーマを「サクラ」とし、掲載していきます。



市役所さくら通り

昭和27年（1952）相模原市がまだ高座郡相模原町であった頃、神奈川県緑化祭の緑化事業で桜の苗木を譲り受け、小学校や河川沿いをはじめ、市役所前の相模原警察署前から横山二丁目交差点までの約900mに植樹されました。平成27年（2015）5月現在、市役所さくら通りには310本の桜が植えられています。

平成6年（1994）には道路愛称として一般公募の中から「市役所さくら通り」と名付けられました。平成24年（2012）には本市の景観重要樹木に「市役所前通りの桜並木」が指定されています。

昭和49年（1974）に開催された第1回市民桜まつりパレードでは、当時の相模原市の人口が35万人であったことから「35万人のふるさとづくり」がテーマとされ、現在も「市民まつり」として毎年40万人以上の方が訪れています。



その他、相模原市内各地の桜の名所

尾崎号堂記念館（住所：緑区又野691）

明治45年（1912）当時の東京市長であった尾崎行雄が日米友好の証として「荒川堤」の桜を接ぎ木して育てた12品種三千本の桜をワシントンに贈りました。その後、「桜の里帰り」が行われ、染井吉野など4品種の桜の苗木が「号堂桜」と命名され、その内「普賢像」という品種1本が平成4年（1992）2月、同記念館に植樹されました。



津久井湖（県立津久井湖城山公園 水の苑地・花の苑地）

津久井湖の湖底に沈んだ地区（荒川・不津倉・中沢・三井）に下る道沿いには、桜とツツジで有名な場所がありました。昭和40年（1965）に城山ダムが竣工し、その場所は湖底に沈みました。その後「水の苑地・花の苑地」として整備された湖岸には、桜が植栽されました。「津久井湖さくらまつり」では多くの人たちでにぎわいます。



このほか、相模原市内には多くの桜の名所があります。相模原市さくらサクプロジェクトホームページより「さがみはら さくらマップ」を是非ご覧ください。

<http://sagamihara-sakura.com/>

広告

お庭のお手入れや
緑化工事など、
お気軽にご相談ください。

相模原造園協同組合
<http://www.sagamihara-zouen.jp/>
 TEL: 042-773-8977 FAX: 042-773-5051

相模原市まち・みどり公社が推進する「みどり豊かなまちづくり」を応援しています。



写真・情報提供協力 相模原市
NPO法人みどりのお医者さん

いきいきとした人と森林のかかわりを求めて ～さがみはら森林ビジョンの推進～

市内の森林の現状と課題

相模原市は津久井地域との合併により、市域の約6割を森林が占める都市となりました。しかしながら、森林の手入れ不足により、森林のもつ水源かん養機能[※]の低下などが憂慮されており、森林資源を継続的に利用し、健全な姿で次世代に引き継いでいくことが必要となっています。

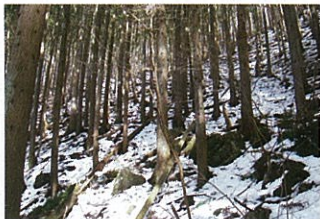
※水源かん養機能・・・森林には、森林土壌が雨水を貯めることにより、河川の流量を安定させ、洪水をやわらげる機能や、雨水が森林土壌を通過することにより、水質が浄化される機能があります。これらの働きから、森林は「緑のダム」とも呼ばれています。

一さがみはら森林ビジョン・実施計画一

市では森林に関する課題の解決に向けて、市民が市内の森林について「知って、使って、身近になる」ことをキャッチフレーズとする「さがみはら森林ビジョン」を平成22年度に策定し、森林の目指すべき将来像や取組みの方向性を示しました。

さらに、さがみはら森林ビジョンを確実に実現するため、平成24年度には「さがみはら森林ビジョン実施計画」を策定し、課題である「木材等の利活用の推進」を中心とする木材流通の最適化や木材の公共建築物への利用、地産地消の促進など、関係事業者や市民とともに様々な取組みを行っています。

人工林の適切な管理：緑区青野原



(整備前)



(整備後)

お問合せ 相模原市津久井地域経済課 林業振興班
〒252-5172 相模原市緑区中野633番地 TEL：042-780-1401
e-mail tsukui-keizai@city.sagamihara.kanagawa.jp

主な取組み

●市民の森の整備の検討

市民が森林に触れ合える場として、緑区にある石老山周辺を対象とする「市民の森」の整備について検討を行っています。

●木材の利用拡大

平成25年度に関係事業者等により、津久井地域の木材（津久井産材）の利用拡大などについての協議組織がつくられ、津久井産材の流通や利活用などについて話し合いが行われています。

●公共建築物への利用促進

青野原出張所（緑区青野原）や、津久井中央保育園（同三ケ木）をはじめ様々な公共建築物に津久井産材の利用を進めています。また、相模原市役所本庁舎の課名表示板を庁舎の木質化の一環として、津久井産材製に変更しました。

●適切な森林管理の推進

森林所有者や森林組合などの事業者と協力して、適切な森林管理の推進に取り組んでいます。

●さがみはら森林情報館（ホームページ）

木材利用や森林保全活動、ハイキングコースなど、森林に関わる情報を発信しています。

<http://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/kankyo/shinrin/index.html>



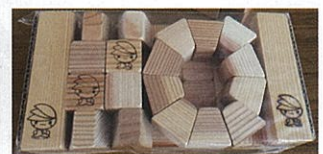
青野原出張所事務室



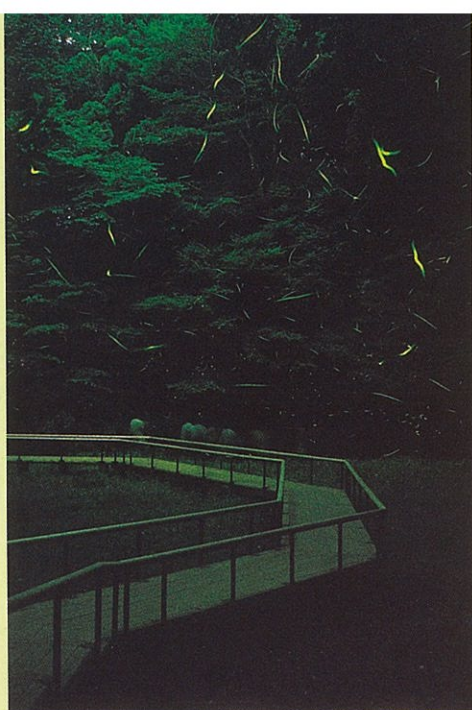
相模原市役所本庁舎・課名表示板



津久井産の広葉樹を利用した学習机天板



津久井産材製品の一例



市内の動植物を訪ねて 道保川公園の蛍

道保川公園は、道保川の水源と横山丘陵の自然を都市緑地として保全しながら、水と緑が一体となった自然とのふれあいの場として活用するために風致公園[※]として整備されています。平成8年（1996）には、川のせせらぎやメジロやシジュウカラなどの野鳥のさえずりが対象となり同公園は環境省の「日本の音風景100選」に選ばれました。6月には園内の「双子沢」や「せせらぎの沢」等で蛍（ゲンジボタル）を観察することができます。

蛍は水の汚れにとっても敏感な昆虫で、きれいな水の流れでなければ生活できません。川の両岸にたくさんの木が茂り、産卵場所には苔が生え、サナギになるときに潜る土手も必要です。また、川には蛍の幼虫のエサとなるカワニナもたくさん住んでいなければなりません。カワニナが成長するためには、たくさんの植物性のエサが必要で、エサとなる珪藻類は魚の糞や水の溶け込んだ栄養を取り増えていきます。さらに珪藻類の生長には酸素が十分に溶け込んでいる「きれいな水の流れ」が必要です。

道保川公園では、直接人の手を加えることなく、自然環境で蛍が生息できる環境づくりをしています。

※自然のおもむきを活かした都市公園



写真協力：相模原市

道保川公園管理事務所からのお知らせ
来園する際は足元が暗いため懐中電灯をご持参ください。

公園では蛍に懐中電灯の光を当てないようにするため、管理事務所で配布する赤いセロハンをご持参の懐中電灯に貼り付けてご使用いただけます。



- 道保川公園** 住所：相模原市中央区上溝1359 TEL：042-776-6484 第1駐車場20台 第2駐車場24台
- ▶開園時間 6月 午前7時から午後6時まで
特別期間：平成27年6月6日から6月21日まで 午前7時から午後9時まで（入場は午後8時45分まで）
 - ▶アクセス JR相模原駅からバス「北里大学経由相模大野行」で、「光が丘3丁目」バス停下車徒歩10分
JR上溝駅から徒歩20分

ご存知ですか？ 緑化をすると奨励金が交付されます

緑化の種類は
4種類

- 駐車場の緑化
- 屋上の緑化 → 合計最大20万円
- 壁面の緑化
- 生垣の設置 → 最大10万円

その他各種条件につきましては、下記へお問い合わせください。
〒252-0236 神奈川県相模原市中央区富士見6-6-23
☎ 042-751-6624 (みどり・地域振興課直通)



相模原市まち・みどり公社が推進する「みどり豊かなまちづくり」を応援しています

広告

コカ・コーライーストジャパン株式会社 <http://www.ccej.co.jp>
COCA-COLA EAST JAPAN CO., LTD. (コカ・コーラ指定会社) Coca-ColaはThe Coca-Cola Companyの登録商標です。

広告

かおりが、あまみが、
New!
キリン生茶

2015年6月1日発行 / 編集・発行所：〒252-0236相模原市中央区富士見6-6-23 公益財団法人 相模原市まち・みどり公社
TEL：042-751-6623 FAX：042-751-2345 (土・日・祝日 はお休みです)

本紙に対するご感想、ご意見をお寄せください。ホームページにもぜひアクセスを… <http://www.sagamiharashi-machimidori.or.jp>